

【日時】 2008年3月22日～23日

【メンバー】 L岩田、小川

アイスのシーズンも終わると私にとっては本格的なクライミングシーズンが始まる。このところ湯河原幕岩が多かったのでもたには違うところに行きたいと思っていたところに小川君と都合が合い伊豆のクライミングツアーが決まった。彼はこのところクライミングがメキメキ上達していて抜かれるのは時間の問題ではないかと恐れてしまう。しかし、こちらも負けてはいられない。正月になんとか5.12aを登ることができたが、あれはマグレだったと言われたいめにもこちらも精進するしかないのである。

まず初日は城ガ崎・シーサイドエリアに向かった。ここに来るのは4年ぶりくらいだろうか。懸垂下降で岩場に下りると相変わらず多くの人で賑わっていた。しかし晴天・無風というベストコンディションにしては空いている方だろう。まずはハジノライン (5.10a) でアップする。このくらいであれば2人とも難なく登れる。

続いて私がタイトボーイ (5.10d) にトライ。すでに数年前にレッドポイントはしているが久々に取り付いたら上部のハングが越えられず失敗してしまった。続いて小川君が挑戦。やはり上部のハングが越えられずオンサイトはならず。

「こんなハング初めてですよー」と言っていたが3回目で軽々レッドポイントしてしまった。若さとは凄いものである。

さて、続いては私が以前から取り付いてみたいと思っていたホワイトシャーク (5.11c) に挑戦した。数年前に来たときはただ眺めるだけだったが今ならできそうな気がする。しかし、登れなかったら回収はどうしよう・・・などと久々に緊張してしまった。1本目のボルトまでが遠く緊張するが難しくはない。そこからは数メートルややハング状となるがホールドはチョーク跡で明確である。しかし細かいのでやはり落ちて



しまいオンサイトならず。しかし、なんとか上まで抜けてみると途中に大ガバがありそこでレストできればいけそうな気がした。そして2回目、自分でも不思議なくらいスルスルと登れてしまい2回目でレッドポイント成功。我ながら驚きである。俺も成長したなー、と自分を褒めてみた。

続いてクラックも登りたくなりイントロダクション (5.9) に挑戦してみるが潮風のせいか岩が滑りやすくて恐ろしい。さすがにこちらはオンサイトならず。しかし2人とも成果を残すことができ登った本数は少ないが満足いくクライミングができた。

続いて2日目。お互い初めてとなる鷲頭山に向かう。海岸沿いの駐車場に車を止め歩くこと30分で到着。アプローチも短く、海も見え抜群のロケーションである。

まずはマンボウ (5.10a) でアップ。ボルトが古いので緊張しながら登る。グレードはやや辛めでワングレード上ではないかと思った。

続いて小川君がメイズ (5.10d) に挑戦。1本目のボルトが非常に高いところにあり注意が必要だ。惜しくもオンサイトは逃してしまったが2回目でレッドポイントに成功。小川君は自分よりも成長の速度が速いのであせってしまう。

さて、私はこの岩場の看板ルートともいえるコズミックダンサー (5.11d) に挑戦した。昨日の成果で気をよくして意気揚々と取り付いてみたものの・・・難しい！

傾斜は85度くらいなのだがとにかくひたすら細かいカチが続くスラブのようなルートである。まともに登ることができずA0を使ってやっとこさ終了点に到着した。久々の手に負えないルートではあったがこれは次回への課題だろう。

このまま敗北感を味わったまま帰るのは嫌なのでETハング (5.11a) に挑戦してみた。上部がやや被ってはいるがハングという程ではない。ホールドがわかりやすいので1回取り付いてしまうとすぐにわかる。2人ともオンサイトは逃したが2回目でそれぞれレッドポイントに成功。5.11aとしてはお買い得だろう。これで2人とも満足して帰京。やはり伊豆のクライミングは楽しい。帰りの渋滞さえなければもっと楽しいのだが・・・。

